

Asia Food

「食」業界のアジアへの事業展開を支援する
唯一のネットワーク。

AFBA Monthly

VOL.77

2019.12.03

発行人：田中 秋人
編集長：橘川 昭文
編集：会員サービス向上委員会
一般財団法人アジアフードビジネス協会事務局
〒104-0045東京都中央区築地1-9-5 一九堂ビル5階(株)アジア戦略本部内
•TEL: 03-3524-8080 FAX: 03-3524-8125
E-Mail info@asiafood.jp Web Site <http://asiafood.jp>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/asiafoodbiz>



目次

- P.1-P.2 <協会活動>
第2回ベトナム新市場研究会の報告
- P.3 <会員紹介>
株式会社 ユニワイド 様
- P.4 <会員紹介>
株式会社 いまでや 様
- P.5 <協会イベント案内>
「アジア市場開拓セミナー」のご案内
編集後記

◆協会活動

～アジア各国の新市場研究会～

「ベトナム新市場研究会」の第2回目セミナー報告

第1回目の「アジア新市場研究会」(10月23日開催)に続き、第2回目はベトナム大使館投資担当参事官グエン・スアン・ティエン氏と、ベトナムのダナン市でスパ&リゾートホテルを開業し、その中に和食のフードコートを展開するホテル三日月グループの小高社長のお二人をお招きして、会員企業中心に18社26名の方々にご参加頂き、11月28日に開催致しました。



研修会の講演を熱心に聴く参加者の皆さま



ベトナム大使館のグエン参事官のご講演

政府・自治体・公的機関情報

■現地所長が語る—ロシア・中央アジアの新たな商機—

ロシアは「2024年までの国家目標」を掲げ、ヘルスケア、環境、デジタルエコノミーなどの分野で新たな商機が期待されます。中央アジアではウズベキスタンで経済改革が進展し、ビジネス環境が大きく改善されつつあります。

本セミナーでは現地事務所長がロシアおよび中央アジアの最新のビジネストレンドについて解説します。ロシアおよび中央アジアにご関心をお持ちの方にとって、最新事情を入手できる絶好の機会ですので是非ご参加ください。

○日 時：2019年12月13日(金)14時00分～16時30分(受付：13時30分～)
○場 所：JETRO本部 5階 展示場(港区赤坂1-12-32 アーク森ビル)
○内容および申込方法：以下、イベントページをご確認ください。

<https://www.jetro.go.jp/events/ora/1900fc31e7df85d5.html>

JETRO海外調査企画課・情報提供発信班(担当：秦、清水、田岡)
Tel: 03-3582-5189(受付時間：9:00-12:00、13:00-17:00 土日祝除く)
E-mail: oraseminar@jetro.go.jp

まず、研究会事務局から前回のまとめとして、「アセアン諸国におけるベトナムの優位性」について、ジェトロや国際協力銀行の調査レポートを基に、中期的な視点でのベトナム進出へのメリットや可能性、抱える課題を説明致しました。その優位性は5つにまとめられます。①経済成長と共に拡大する国内消費マーケット。②若くて優秀な人材が多く、人件費が他のアセアン諸国より相対的に安い。③安定した政治・社会情勢と親日度が高い国である。④自由貿易協定の拡大により、輸出促進と安定した経済成長が期待できる。⑤陸路で、中国や他のアセアン諸国と移動・交流できる事による地政学的な有意性。その一方で抱える課題として、1)労働コストの上昇傾向が顕著である。(年率10%前後) 2)ベトナムの法務・税務処理の煩雑さや度重なる変更がネックとなっている。3)電力や道路といったインフラの未整備 4)マネージャーを中心とする高度人材の確認が難しい。長年の戦争の影響で中高年齢層が少ない。

続いて、ベトナム大使館グエン参事官から、日本からの政府開発援助(ODA)によって、ベトナム国内の橋や高速道路が整備され、逼迫している電力需要に対しても火力発電所を建設するなど社会インフラが整備されている事に対する感謝の言葉を頂きました。2019年の外国からの投資額では、日本は中国、韓国、米国に続いて4位ですが、ベトナムへの工場進出による雇用の創出や技術移転など、紐付きでない、安全な投資国としてベトナムでは信頼性が高い国となっているとの評価。日本からは大企業ばかりでなく、中堅・中小企業にも進出して欲しいと考えているので、中小企業向けの優遇制度の整備や日系企業の交流と情報交換の場である日本商工会議所については、ホーチミン市とハノイ市の2ヶ所に事務所があり、其々1,000社を超える会員が所属し、活発に活動しているとの報告を頂きました。グエン参事官からは、ベトナムが抱える課題についても説明があり、マネージャーを含めた高度人材の育成という課題に対しては、日本に期待する事が大きいと感じました。参加者からの質問に対して、ベトナムの現状を踏まえた回答をなされました。経済成長著しいベトナムであるが、人口の約7割は農業従事者で中位所得者なので、日本製の商品や食べ物も、安心安全で美味しいが、中国製に比べると割高なので、中々買えないのが現実だそうです。ベトナムの国が、更に発展し豊かになっていく為にも、今後も良好な日越関係をベースに、日系企業の更なる進出を期待しますと述べられ、講演を終えました。参加者と名刺交換しながら、ベトナムの魅力や今後の展開に関して意見交換しているのが印象的でした。

～(一般)アジアフードビジネス協会主催:セミナー開催予告～

「アジア市場開拓セミナー」(2020年2月19日開催)のご案内

この度、一般財団法人アジアフードビジネス協会主催で「和食の海外展開」をテーマとした「アジア市場開拓セミナー」を、来春2月19日に新宿住友ビル(東京都)で開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。

このセミナーは、会員企業ばかりでなく、和食の海外展開を目指す飲食関係の一般企業の皆さまにも数多く参加して頂き、和食の海外展開について共に学び、相互に交流を深める事を目的としております。

当日の特別講演会では、お二人の講師をお招きする予定で、お一人は株式会社トリドールホールディングスの代表取締役社長の粟田貴也氏で、「トリドールホールディングスの海外展開」(仮タイトル)についてご講演を頂く事になっております。

又、この会合に参加なされる企業の事業内容と海外展開を紹介する「リレープレゼンテーション」の企画と、会員企業の会社概要と海外展開をまとめた冊子もご用意しておりますので、参加企業同士のコラボレーションの機会作りにお役に立てるかと思っております。

「アジア市場開拓セミナー」の概要は以下の通りですが、**詳細が決まりましたら改めてご案内申し上げます。**

【記】

■日時: 2020年2月19日(水) 14時00分～18時00分

・第一部: 「特別講演会と海外展開の活動紹介」

14時00分～16時45分

・第二部: 「名刺交換交流会」

17時00分～18時00分

■場所: 新宿住友ビル27階会議室

東京都新宿区西新宿2-6-1

(都営大江戸線都庁前、又は営団丸ノ内線 西新宿駅より徒歩3分)

■主催: 一般財団法人アジアフードビジネス協会

■共催: 西武信用金庫

■協力: BuzzVideo : BuzzVideoは、無料のショートビデオアプリで、レンド動画、GIFを機械学習によりユーザーの興味に合わせて瞬時に表示し、更新し続けていく、コンテンツ発見および推奨モバイルプラットフォームです。

■参加者: 協会の会員企業及び海外展開を目指す飲食関係の企業



文責: (財)アジアフードビジネス協会 理事 渡辺幹夫



編集後記

この一文の締め切り日が11月28日。馴染みのレストランの女主人からの受け売りだが、奇しくもこの日は2019年の333日目、年末まで残り33日なのだそうである。

そうなると考える。先に10年物のパスポートに更新したのだが次の有効期間満了日は2029年10月10日迄。

小生御年傘寿++に至る。日記に記す「その時まで生きとるかなー」。

今年一方ならずお世話になった方々の思われぬご帰天の報が相次いだ。

高校からの長友 sawamocchan との交信。

小生「その後如何お過ごしか? うんともすんとも。何か云うて下さい。」

彼「実は僕は去年の秋に間質性肺炎といふ原因不明、治療法なし、予後不良の病気の種類だと宣告されました。

余命は言われませんでした。間質性肺炎の中でも進行が早い種類らしく半年たちそろそろ危ない感じです。

こうなると若い頃のことがよく思い出されます。

「長い間ありがたう」小生「一目会いたい。」彼「takakun ありがたう。体力が全くないので来客の応対は苦しいです。

気持ちだけ戴くです。」小生「分かったです。長い間ありがと。」そして彼は逝った。

年の瀬まで33日の締め切り日。導かれるように人生の締め切り日に向けた一文となりました。皆様ご寛恕のほど。

文責: アジアフードビジネス協会 評議員 高木 真